



上空から見た天守曲輪と備中櫓周辺

### 平成 17 年度整備事業の概要（まとめ）

上の写真を見ていただきますと、中央やや下側に備中櫓の屋根が見えます。そこから右やや上方に伸びているのが長局及び到来櫓の平面表示及び柱位置の立体表示です。備中櫓のすぐ北側に「L」字状の折れ曲がりがあり、そこから東へ一直線に伸びているのが本丸御殿と長局の間を画する仕切り石垣表示です。さらに備中櫓の北西に隣接して東西方向に長い土塀の屋根を見ることができます。この土塀の東の端部分に五番門が位置しています。

これらのうち、五番門、仕切り石垣は備中櫓の北側の空間への進入を規制するために設置しています。備中櫓は閉鎖時に機械警備をかけており、不用意に近づくと警報が鳴ります。そのため、備中櫓に物理的に接近できなくするための管理区域設けたものです。

また、天守台の上面にも土系舗装を施し、石垣天端には転落防止策を設置しています。これは天守台上面からの雨水浸透による天守台石垣間詰め石の転落が著しいため、これ以上天守台内に雨水を入れないための処置です。

### 雨の日の見学に朗報！

備中櫓の見学は、濡れ縁下に設置されたスノコで靴を脱いで入室するようになっています。このスノコの部分は臨時的に運動会用のテントを設置していましたが形が合わず、雨の日には隙間から雨が入り、濡れ縁まで水浸しになっていました。

そこで今年度は新たに備中櫓の形に合わせたテントを設置し、雨の日でも濡れることなく見学ができるように改善しました。

また、備中櫓周辺部分も土系舗装を行ったため、ぬかるむ心配はありません。



## 津山城だより

TSUYAMAJODAYORI

No.10  
2006年3月

発行年月日 平成18年3月31日  
編集・発行 津山市教育委員会  
津山城整備推進係  
〒708-0824岡山県津山市沼600-1  
TEL (0868)24-8413  
印刷 株式会社 廣陽本社

# 津山城だより

TSUYAMAJODAYORI

No.10  
2006年3月

津山市教育委員会  
津山城整備推進係

## 備中櫓周辺整備が完了しました。



平成17年3月の備中櫓の完成から一年が経過しました。この間備中櫓への入場者数は約84,000人となりました（平成18年2月末現在）。

平成17年度には備中櫓西側にあった「五番門南石垣土塀」の復元整備工事、備中櫓の東側に接続していた「長局および到来櫓」の立体表示（兼藤棚再整備）工事、備中櫓北側の環境整備工事、及び天守台天端面整備工事と、大きく四つの整備工事を実施しました。

平成17年の年度末を迎えそれらの工事も終了し、備中櫓周辺が装いも新たに、往時の景観を取り戻しました。今回はこれらの工事の概要をご紹介します。



南西から見た備中櫓と五番門南石垣土堀

### 表鉄門から備中櫓へのアプローチ

表鉄門から本丸へ入ると、目前に新たに整備された到来櫓と長局が現れます。この場所は新たに到来櫓と長局の内部の部屋割と柱位置の表示を行っています。畳敷きの場所は「透水性舗装」・部屋境は「石」、板敷きの場所は「真砂ブロック」と、それぞれ素材を変えて表示し、建物等がなかった場所は土系舗装としました。柱は四角い柱が建物の本来の柱位置を表しています。所々にある丸い柱は、上部

を藤棚として利用するために補強として設置したものです。また、この場所にはベンチを再利用も含め9個設置し、休憩場所としても利用できるようにしています。

長局から北へ約3m程の所には長局と本丸御殿を隔てる「仕切石垣」の表示を行っています。この石垣は絵図からは高さ1m程度と考えられますが、備中櫓周辺の見通しなどを考慮して、石垣を40cm程度とし、石垣上面にサツキとツツジを植えて高さを表現しています。



到来櫓・長局立体表示



仕切石垣



東側から見た五番門

### 五番門（備中櫓管理門）

備中櫓北側に新たに設置しました。本来の五番門は天守曲輪への南側からの入り口となっており、東から西への動線を遮断する門でした。しかし今回の整備では、逆に天守曲輪から備中櫓へという西から東への動線を遮断する門として整備しました。

そのため外観は東側が表になっていますが、門を東側に設け、西側から備中櫓へ入る道を遮断するような特殊な構造になっています。

### 五番門南石垣土堀（その1）

五番門南石垣土堀はその名の通り、五番門の南側の石垣上に復元整備されました。ちょうど備中櫓のすぐ北西側になり、南側の市街地から見ると備中櫓に接続しているように見えます。

外観は備中櫓と同様に壁面は白漆喰塗籠で屋根は本瓦葺で、東・南・西の三面に矢狭間と鉄砲狭間を設けています。土堀の城内側には転倒防止用の控柱が設けられています。



五番門と五番門南石垣土堀の位置関係

### 五番門南石垣土堀（その2）

五番門南石垣土堀の構造は前回も説明したとおり、「太鼓塀」と呼ばれる、独特の構造で復元整備しています。

残念ながら完成した現在では内部の構造を見学することはできませんが、塀の表と裏に壁を作り、その間の隙間に河原石を充填しています。類例は少ないですが、江戸時代の文献に記載されている構造をできるだけ忠実に再現しています。



北西から見た五番門南石垣土堀

### 備中櫓ライトアップ

備中櫓の景観は昼間だけのものではありません。これまで津山城に設置されていたライトアップ施設は石垣の照明用でしたので、今回備中櫓の本体をライトアップするための投光器を南西及び南東の2ヶ所に設置しました。

イベント等の時期に随時点灯しますので、その時には、夜空に浮かび上がる幻想的な備中櫓の姿をお楽しみ下さい。さくらまつりの期間中は点灯しています。

